

行事ができる！ということ

10月17日(月)3年ぶりの合唱コンクール実施、そして4年ぶりのパルテノン多摩での開催。皆さんは今回の合唱コンクールのため、クラスで、多目的ホールで、体育館で一生懸命練習を積み重ねてきました。そしてクラス内でどうしたらいい合唱を作れるかを話し合い、工夫する時間を取るなど、ここ最近コロナ禍でできなかったことにチャレンジしながら当日を迎えました。

無事に当日を迎えられ、ホールで立派な各学年の姿をみられたこと、堂々とした歌声を聴けたこと、演奏を聴けたことすべてが当たり前のことではなく、奇跡的なことなのです。全校生徒が初めての体験となるホールでの合唱。当日までの道のりに関する想いは個人個人それぞれに違ったものがあつたでしょう。また当日の本番で歌い切った感覚、本番で聴いた他のクラスの歌声、吹奏楽部の演奏等、一人ひとりの肌に、心に響いたのではないのでしょうか。

講評で音楽科の齋藤先生から「今日までのいろいろな思いを味わった体験はこれからの人生の中で、必ず役に立つことでしょう」という言葉がありました。私校長も何かある時、頑張らなくてはならないときに必ず考え、思い出すことがあります。

それはサッカー夏季選手権大会で、顧問として初めて臨んだ決勝戦のことです。優勝する気満々で臨んだ試合でしたが、私の未熟な采配で0対1で負けてし

まいました。そのためあの時にもう一度戻れたらといつも考えてしまいます。もっと落ち着いて心や言葉や指示するタイミングなど、適切に対応していれば違った結果になっただろう、ということの悔やみです。私はその当時の自分の失敗を繰り返さないように、大事な場面では「思い出せ、思い出せ、あの時の決勝のときのことを」と、気持ちを落ち着かせて平常心にしようと心がけています。

皆さんは学校生活の中で、友人と過ごす様々な場面で得ること、授業や行事の中で学ぶこと、また7つの習慣の取組でつかむこと、SDGsの目標に向かって大切にしなければならないこと等、多くのことを学習します。これらの学びが、将来に向かって豊かな人生を歩んでいくための大事な糧となり、経験となります。ぜひ今日の感動を大切に、今後の学校生活に生かしていきましょう。

「藍は藍より出でて藍より青し」

この日の合唱の姿をみて、皆さんのこれからのさらなる成長を確信しました。頑張ってください。



【部活動戦績等 10月】

◆ バレーボール部 ◆

◎令和4年度 第7ブロック新人大会

(女子バレーボール)

- ・10月9日(日曜日) 会場: 諏訪中学校
- 2-0(多摩永山中 対 諏訪) 25-12、25-9
- ・10月16日(日曜日) 会場: 別所中学校
- 2-0(多摩永山中 対 別所) 25-17、25-11
- 2-0(多摩永山中 対 東愛宕) 25-11、25-11
- ・10月23日(日曜日) 会場: 日野第二中学校
- 1-2(多摩永山中 対 別所)

6-25、25-14、12-25

◆ 女子バスケットボール部 ◆

◎多摩市中学校市民大会

- ・10月23日(日曜日) 会場: 多摩永山中学校
- 優勝

◆ ソフトテニス部 ◆

◎第48回 多摩市民体育大会

- ・10月23日(日曜日) 会場: 多摩東公園庭球場

中学生男子の部

第2位 鈴木 碧大・佐藤 風我 ペア

第3位 渡邊 宗輝・増見 陸太 ペア

中学生女子の部

第1位 奥谷 琉奈・高橋 友香 ペア

第2位 石井 こまち・綿貫 アリア ペア

第3位 晝間 結菜・作増 紀珀 ペア



<都大会新人戦出場男子チーム>

<都大会新人戦出場女子チーム>

◆ 剣道部 ◆

◎令和4年度 第23回東京都中体連第7ブロック

秋季剣道大会

- ・10月16日(日) 会場: 多摩永山中

男子団体 準優勝

○ 多摩永山中 対 城山中・浅川中合同

○ 対 つくし野中

○ 対 三沢中

● 対 横山中



◆ 令和4年度 薬物乱用防止ポスター入選 ◆

◎地区会長賞

2年 岡田 知夏

◎佳作

2年 山元 結暖 2年 川島 幹大

◎特別賞

3年 栗原 明里 2年 勝呂 柚

2年 武内 優奈 2年 源 唯希

2年 川ノ口 悠 2年 高橋 友香

◆ 令和4年度 明るい選挙ポスターコンクール ◆

◎多摩市優秀賞

2年 大月 隆寛 2年 横井 路真

2年 村田 雅

「永光祭」と名付けた当時の先生達の思いと同じ思いを感じ取り、合唱コンクールに臨めた生徒の作文

3年 女子

私は、『永光祭』が「とても良い名前をしているな」と思った。『永光』は、永遠の光と捉えることができ、これからもその光、幸せ、勇気を沢山のひとに与えていくという意味があると推測したのだ。先生方がこの行事を『伝統』と呼ぶあたりからも、やはり多摩永山中学校を象徴する大切な行事なのだと分かる。「途切れてしまった伝統をもう一度取り戻す」。この先生の言葉を私は、私達は受け止め達成することはできたのだろうか。もう一度振り返ってみる。

三年生全員で歌った全体合唱。大きな波の中に流れて、自分も波の一部になっているような感覚に陥るほどの迫力があつた。さらに、その後に続いたクラス合唱でも、どのクラスも『秀逸』の一言に尽きるほどの素敵な『作品』だった。

そう考えると、今回の課題は達成したと言い切つていいと思う。このような最高の行事を最高な仲間と創り上げられたことをとても嬉しく感じた。



第26回 永光祭 合唱の部

<3年全員合唱 あなたへ>

吹奏楽部の演奏では、観客席とステージが一体となった素晴らしいLIVE演奏でした。夏前から練習してきた賜です。



